(第 14 回権利擁護部会資料)

令和元年 9 月 4 日
京都市保健福祉局
障害保健福祉推進室

「権利擁護」に関する課題とその解決方法について（情報支援）

本日の議論の進め方

- これまで権利擁護部会で出された課題に対する京都市等の取組例を紹介・意見交換
- 今後の議論の進め方について（意見交換）

課題	取組例
<ul style="list-style-type: none"> ・重要書類の取扱いや公共交通機関の整備、行政機関の受付窓口について、郵便物の点字シール添付、拡大文字、音訳、手話等の必要性等が十分に浸透していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を通じた障害への理解促進 ・税、保険料、水道料金等のお知らせに関する封筒に点字シールを貼っている ・卓上型ヒアリンググループの配備
<ul style="list-style-type: none"> ・文字を読んで理解することが難しい方、視覚障害者で点字も墨字も読めない方への配慮の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく伝えるための手引きの作成 ・コミュニケーション支援ボードの区役所・支所障害保健福祉課への配備 ・ほほえみプランのわかりやすい版、音訳版の作成
<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じた配慮が不十分なため、投票ができにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙公報の点字版及び音声版の配付、点字による投票 ・職員による代理投票 ・コミュニケーション支援ボード
<ul style="list-style-type: none"> ・触法障がい者への接見での必要性 	東部自立支援地域協議会の触法障害者専門部会での取組（アセスメントシート（別紙）の作成等）